

YAMANASHI KYOUTOU



世界農業遺産への 認定を目指して



峡東地域世界農業遺産推進協議会

世界農業遺産

世界農業遺産[Globally Important Agricultural Heritage Systems: GIAHS(ジアス)]は、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり形づくられてきた農業上の土地利用や伝統的な農業、農業に関わって育まれた文化、景観、生物多様性などの保全と持続的な活用を図ることを目的に、国際連合食糧農業機関(FAO)が2002年に開始した制度です。

世界農業遺産は、伝統的な農業を次世代に継承していくことを目指すものであり、様々な変化に対応しながら持続的な発展を続ける「生きている遺産」と言われています。

世界では、15カ国36地域が認定されており(2016年1月現在)、日本では、2011年に新潟県佐渡地域と石川県能登地域が、2013年に静岡県掛川周辺地域、熊本県阿蘇地域及び大分県国東半島宇佐地域が、2015年に岐阜県長良川上中流域、和歌山県みなべ・田辺地域、宮崎県高千穂郷・椎葉山地域が認定され、8地域となっています。

(詳細は、農林水産省ホームページ「世界農業遺産(GIAHS)」)

[国内の認定地域]



1. 能登の里山・里海
(石川県能登地域)



2. トキと暮らす郷づくり
(新潟県佐渡地域)



3. 静岡の茶草場農法
(静岡県掛川周辺地域)



4. 阿蘇の草原の維持と
持続的農業
(熊本県阿蘇地域)



5. クヌギ林とため池がつなぐ
資源の循環
(大分県国東半島宇佐地域)

2015年認定

6. 岐阜県長良川上中流域

7. 和歌山県みなべ・田辺地域

8. 宮崎県高千穂郷・椎葉山地域

[世界の認定地域]



1. チロエ農業
(チリ)



2. アンデス農業
(ペルー)



3. イフガオの棚田
(フィリピン)



4. カシミールのサフラン農業
(フィリピン)



5. コラプットの伝統農業
(インド)



6. 海拔以下でのクッタナド
農業システム(インド)



7. 青田の水田養魚
(中国)



8. ハニ族の棚田
(中国)



9. 万年の伝統稲作
(中国)



10. トン族の稲作・養魚・
養鴨(中国)



11. アオハンの乾燥地農業
(中国)



12. プーアルの伝統的茶農業
(中国)



13. 会稽山の古代中国カヤ林
(中国)



14. 宣化のぶどう栽培の
都市農業遺産(中国)



15. 興化の嵩上げ畑農業
システム(中国)

世界農業遺産への認定を目指して

峡東地域の果樹栽培の歴史は古く、ぶどうの甲州種は奈良時代に仏教とともに中国を経て伝来したと言われています。現在では、多くの先人の努力と叡智により、地域住民の生計や文化と密接に結びつく中で、今では桃源郷とも言われる美しい農村景観を形成するまでに至っています。

人口減少や経済のグローバル化の進行等により、農業を取り巻く環境は厳しさを増す中、世界農業遺産への認定を実現し、かけがえのない果樹農業が育む景観や文化を末永く保全していくことで、交流資源としての活用も期待でき、ブランド化の推進にも寄与するものと考えています。

このため、平成27年10月、山梨市、笛吹市、甲州市の峡東三市や山梨県が一体となり、「峡東地域世界農業遺産推進協議会」を設立しました。

今後は協議会が中心となって、認定実現に向けた活動を強力に推進していきます。

峡東地域世界農業遺産推進協議会

○協議会の事業

- ・世界農業遺産への申請に関すること
- ・世界農業遺産の活用や、アクションプラン(保全・活用計画)に関すること
- ・国際連合食糧農業機関への活動報告に関すること

○役員構成

顧問	後藤 斎	山梨県知事
会長	田辺 篤	甲州市長
副会長	望月清賢	山梨市長
副会長	倉嶋清次	笛吹市長



16. 佳県の伝統的
中国ナツメ農園(中国)



17. 福州のジャスミン・
茶栽培システム(中国)



18,19. マグリブのオアシス
(アルジェリア・チュニジア)



20. アトラス山脈のオアシス
(モロッコ)



21,22. マサイの牧畜
(タンザニア・ケニア)



23. アグロフォレストリー
(タンザニア)



24. 青山島のグドウルジャン
棚田かんがい管理システム
(韓国)



25. 済州島の石垣農業
システム(韓国)



26. イスファハン州カシャーン
のカナートかんがいシステム
(イラン)

2015年認定

27. バングラディッシュ
28. アラブ首長国連邦

出典:農林水産省世界農業遺産(GIAHS)リーフレット

峡東地域における果樹農業の特長

「里地・里山の果実郷 峡東地域における四季を通じた果樹農業」

特徴ある伝統的な果樹農業

峡東地域では、江戸時代以前より、甲斐八珍果に代表される四季折々に実る多品目の果樹を永く栽培してきました。地域で生産される芸術品にも例えられる高品質な生食用の果樹を中心とした歴史ある農業は、地域の宝であり、世界に誇るべき農業の姿です。

- ・ぶどうの栽培面積は山梨県の約70%（約3,000ha）、全国の約20%
- ・ももの栽培面積は山梨県の約80%（約2,500ha）、全国の約20%
- ・果実の生産額は約380億円で県生産額の約70%を占めています。

1186年（平安時代末期）に甲斐国八代郡祝村（現山梨県甲州市勝沼町）で雨宮勘解由（あめみや かげゆ）により「甲州」ぶどうが発見され、日本でぶどう栽培が山梨県から始まったと言われています。また、718年（奈良時代）に僧行基が勝沼の柏尾で修行したところ、夢の中にぶどうを持った薬師如来があらわれたことから、村人にぶどうの作り方を教え、これが甲州ぶどうの始まりだとも伝えられています。

江戸時代後期の書物『甲斐叢記』によれば、峡中八珍果（甲斐八珍果とも言う。）として、ぶどうやももなど8種の果物が紹介されており、これらの果物は、甲州街道を通過して江戸に運ばれ幕府に献上されるなど、山梨は果物産地として名をはせていました。また、松尾芭蕉の弟子の宝井其角が「甲斐駒や江戸へ江戸へと柿葡萄」と詠んでおり、甲州街道を江戸へと果樹を積んだ馬が来る光景が秋の江戸の風物になっていました。

また、ワイン生産も古くから盛んに行われており、現在の県内ワイナリー数は80社以上にのぼり、それぞれの特徴を生かした個性的なワインが生産されています。県産ワインの原料として古くから栽培されてきた「甲州」と「マスカット・ペリーA」は、国際ブドウ・ワイン機構（OIV）に登録され、世界に通用する日本産ワインとして注目されています。

果樹園や里山が育む多様な生態系

峡東地域では伝統的な甲州ぶどうのほか、様々な種類や品種の果実が栽培され、多様性の高い農業が行われています。

また、地域一帯の果樹園は山地と盆地底部をつなぐ緑のネットワークの要としての役割を果たし、ゴマシジミなどの希少な蝶類の生息環境を維持し、地域の生態系を支える重要な要素となっています。

草生栽培による農業は、草地の維持や地力の維持増進、農薬施用量削減に貢献しています。



果樹園が形成する美しい農村景観

春は桃源郷に喩えられる満開の桃畑など、四季を通じて変化するモザイク状に配置された美しい果樹園の景観は見るものを魅了しています。



伝統的な栽培技術の維持発展

ぶどうの棚仕立ては、徳川時代に永田徳本(甲斐徳本)が考案し普及させたといわれる日本独自の仕立て方で、扇状地の傾斜面に広がるぶどう棚は峡東地域独自の農業景観を醸し出しています。また、消費拡大に結び付く戦略性の高い新品種の作出や優良品種の選抜に取り組むなど、四季を通じた生産性の高い農業システムを構築しています。

品目	主な産地	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
おうとう	中北ほか	ハウス	露地										
ぶどう	峡東ほか	ハウス	ハウス	ハウス	露地	露地	露地	露地					
もも	峡東ほか		ハウス	露地	露地	露地	露地						
すもも	峡東ほか		ハウス	露地	露地	露地	露地						
うめ	峡東ほか												
柿	峡東ほか												
干し柿	峡東ほか												

昭和34年、山梨県農事試験場果樹分場(現:山梨県果樹試験場)がジベレリンを利用したデラウェアの種なし栽培に世界で初めて成功しました。

食べやすさが人気の種なしぶどうは、巨峰やピオーネなどの大粒の品種にも拡大し、現在のぶどう栽培の主流となっています。

伝統的な栽培技術の維持発展



大善寺 本堂

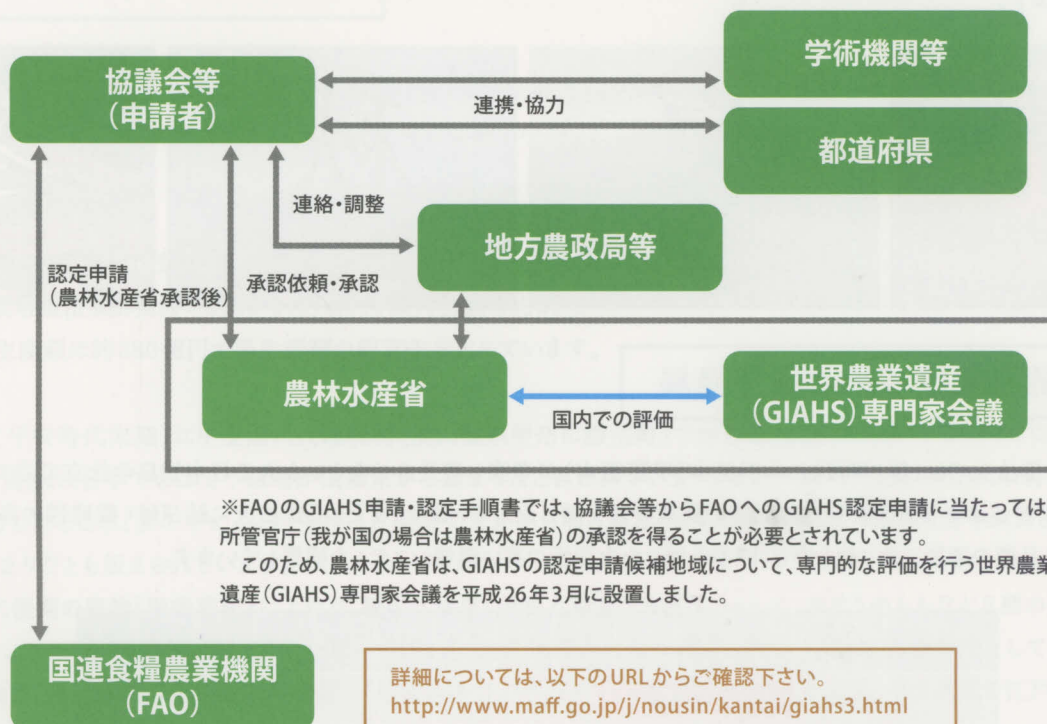
大善寺(718～)の薬師堂(国宝)内の本尊の薬師如来(国指定重要文化財)はぶどうを手を持つなど、果樹栽培と地域の歴史文化が密接に関係しています。

盆地を囲む里山の芽吹き時期、祭祀の開催時期に応じた農事暦があり、多品目果樹栽培を支える協同組合などの活動も活発に行われています。

GIAHS（ジアス）認定の流れ

峡東地域世界農業遺産推進協議会では、平成28年の申請（農林水産省への承認依頼）を目指して活動しています。

世界農業遺産の認定を受けるためには？



出典：農林水産省世界農業遺産（GIAHS）リーフレット

GIAHS（ジアス）認定の効果

国内や国際的な知名度が向上し、地域の農業振興や活性化が図られ、地域の農業の持続的発展につながります。

- ・地域の農産物のブランド的な付加価値が向上し、販売力の強化につながります。
- ・峡東地域を訪れる国内外からの観光客の増加や、果実輸出の促進への弾みとなります。

Q 認定されることにより制限されることは？

世界農業遺産には農法などの制限はありませんが、認定された取り組みを次世代に継承していくためには、保全と活用の両立を図りながら、特徴ある農業の価値を高めていくことが大切です。

アクションプラン（保全・活用計画）の作成

アクションプランとは、地域の様々な関係者により作成する、世界農業遺産の保全と持続的な活用のための具体的な行動計画です。

計画の実践により、歴史ある果樹農業を維持していくとともに、世界農業遺産への認定を契機とした様々な工夫や活用に取り組み、農業者の所得向上や担い手の増加につなげていきます。

認定地域での取り組み事例

新潟県佐渡地域

佐渡地域では、農業生産システムに「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」を導入し、消費者と連携しながら島全体へ拡げていること、生物多様性保全型農業と農業経済が連携し、持続的な環境保全体制を構築していること、佐渡金山が風景と文化に大きな影響を与え、生物多様性と農業生産活動をはぐくむことによって、農村コミュニティを保全してきたことが認められ、世界農業遺産に認定されました。

認定を契機に、里山の価値が見直され、消費者との連携が更に深まるとともに、里山資源の活用も進めています。更に、農業、里山の持続可能性・未来への継続はその地域だけの問題ではなく、日本全体・全世界での支えあいが必要であると考え、日本で最初の世界農業遺産認定地域として、他の認定地域と連携し、世界農業遺産の価値を発信し続けています。

出典：佐渡市役所ホームページ



熊本県阿蘇地域

阿蘇地域では、放牧、採草、野焼きなどによる草原の管理や、畜産だけでなく稲作や畑作と緊密に結びついた草原の活用、集落単位での共同管理により持続的な草資源の利用が長年にわたり引き継がれていることが認められ、世界農業遺産に認定されました。

農林業の生産振興と草原の利用拡大を図るため、伝統的な農法である野草堆肥の活用による農産物の高付加価値化、阿蘇のあか牛を提供する飲食店の認定制度による、あか牛の消費拡大、公共建築物の木造化等による県産木材のさらなる利活用の推進を図っています。

出典：阿蘇地域世界農業遺産推進協会ホームページ



現在の阿蘇地域では、広大な草原を活用した肉用牛の生産等が行われており、肥育牛と繁殖牛を合わせて約20,000頭の肉用牛が飼育されています。

日本で飼育されている肉用牛は黒毛和種が中心ですが、阿蘇地域では在来品種である褐毛和種（あかげわしゅ）（以下「あか牛」）を主体とした繁殖経営が行われてきました。あか牛は、一般に体格が强健で性格がおとなしく、暑さ・寒さに耐え、粗飼料の利用や採食性に優れるという性質を有しており、草原での放牧に適しています。



その肉は、和牛本来の香りと味があり、あか身肉の旨さほどよい脂肪のバランスに加え、アミノ酸の一種「タウリン」が豊富に含まれるヘルシーなところが特徴です。また、酪農も盛んでジャージー種の牛乳は濃厚で乳製品は阿蘇のブランドになっています。特に杖立プリン・黒胡麻プリン・ほろにがプリンが杖立温泉各旅館のオリジナルです。

世界農業遺産に関するホームページ

- [FAO日本事務所] <http://www.fao.or.jp/263/225.html>
- [農林水産省] <http://www.aff.go.jp/j/nousin/kantai/giahs1.html>
- [佐渡市] <http://www.city.sado.niigata.jp/topics/gihas/index/index.shtml>
- [石川県] <http://www.pref.ishikawa.jp/satoyama/noto-giahs/index.html>
- [掛川市] <http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/kakegawatya/PR/chagusaba.html>
- [阿蘇地域世界農業遺産推進協会] <http://www.giahs-aso.jp/>
- [国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会] <http://www.kunisaki-usa-giahs.com/>

問い合わせ先

○峡東地域世界農業遺産推進協議会事務局(甲州市役所産業振興課)

〒404-8501 甲州市塩山上於曾1085番地1

TEL 0553-32-5092 FAX 0553-32-5174

○各市の問い合わせ窓口

山梨市農林課 TEL 0553-20-1379

笛吹市農林振興課 TEL 055-261-2033

甲州市産業振興課 TEL 0553-32-5092

○県の問い合わせ窓口

農政総務課農政企画担当 TEL 055-223-1583